

平成19年度に「大学全入時代」が到来するといわれているが、それは計算上のことである。すでに定員割れが起きている私立大学は、平成17年に160校あり、全体の約30%に達している。こうした状況を受け、大学入試は、すでに「入試で選抜機能が働いている大学」と「入試が形骸化している大学」の二極化が始まっている。

受験生の安定志向、地元重視の考え方が強くなっている今、大学の立地条件が志望校選びの重要なポイントとなっており、入試改革だけでは少子化は乗り切れなくなっている。また、今後、大学が生き残るためには、学生によりよい学習環境を提供し、満足度の高い教育を提供することによって、学生確保ができるかどうかが鍵になる。

こうした状況を踏まえ、「志願者数50,000人確保」を目標に、地域の高校情勢に応じた丁寧な学生募集活動を展開するため、地元戦略と広域戦略に分け、目標達成をめざす。地元戦略としては、京都、滋賀、大阪北部を拠点地区と定め、有力校との関係強化を進めることで、地元における確固たる支持基盤を築くとともに、京都、滋賀の大学別志願者NO.1をめざす。

広域戦略としては、大学の全国ブランド化をめざし、近畿にとどまらず、本学の知名度の低い地域にも「大学政策枠指定校」等を戦略的に配置し、それを足掛かりに全国の有力校から1人でも多くの学生を確保ができる体制を整えることとする。

1) 平成19年度入試制度改革の概要

平成18年度の入試改革では、社会的インパクトの強さから、政策的に志願者の「量」を重視し、多様な学生が、その個性や能力に応じて、受験できるようにするため、入試方式の多様化や併願制度の柔軟化等、大幅な入試制度改革を断行した。その結果、目標志願者数50,000人を達成した。引き続き本学では、この志願者数が維持できるよう、「受験しやすい入試制度（受験生に分かりやすい入試制度）」の構築が求められる。

平成19年度は、受験機会拡大の観点から高校・予備校から要望が強い、3月入試（後期入試）の実施をはじめ、志願者の大幅な減少が続く「経営学部小論文型公募推薦入試」や「短期大学部エッセー型公募推薦入試」の改廃、文部科学省が推奨する専門高校生等対象の推薦入試の全学部実施等、多様な受験生が受験できる入試制度を可能な限り実現し、受験生や高校・予備校等から支持される入試制度の整備をおこなう。

2) 平成19年度募集人員

主な入学試験としては、一般入学試験A日程が平成19年1月27日（土）、28日（日）の2日間、B日程が2月11日（日）～13日（火）の3日間、公募推薦入学試験が平成18年11月25日（土）、26日（日）の2日間の予定で実施される。なお、各学部・学科・専攻における各入試形態の予定募集人員は次のとおりである。

(単位：人)

学部／学科／専攻		入学定員	一般入試		推薦入試		特別入試		募集人員合計	
			一般入学試験	センター試験利用	公募	その他	留学生・帰国生徒	社会人		
文学部	真宗学科	133	45	10	20	58	若干名	若干名	133	
	仏教学科	107	38	8	20	41	若干名	若干名	107	
	哲学科	哲学専攻	65	39	5	10	11	若干名	若干名	65
		教育学専攻	90	49	7	14	20	若干名	若干名	90
	史学科	国史学専攻	65	34	5	10	16	若干名	若干名	65
		東洋史学専攻	65	34	5	11	15	若干名	若干名	65
		仏教史学専攻	65	33	5	11	16	若干名	若干名	65
	日本語日本文学科	90	51	7	12	20	若干名	若干名	90	
英語英米文学科	90	51	7	12	20	若干名	若干名	90		
文学部小計		770	374	59	120	217	若干名	若干名	770	
経済学部	現代経済学科・国際経済学科 一括募集	500	310	25	70	95	若干名	—	500	
経営学部	経営学科	445	248	25	80	92	若干名	—	445	
法学部	法律学科	340	178	34	60	68	若干名	—	340	
	政治学科	110	60	11	17	22	若干名	—	110	
法学部小計		450	238	45	77	90	若干名	—	450	
理工学部	数理情報学科	100	56	7	16	21	若干名	—	100	
	電子情報学科	80	44	5	13	18	若干名	—	80	
	機械システム工学科	80	44	5	13	18	若干名	—	80	
	物質化学科	80	44	5	13	18	若干名	—	80	
	情報メディア学科	80	44	5	13	18	若干名	—	80	
	環境ソリューション工学科	80	44	5	13	18	若干名	—	80	
理工学部小計		500	276	32	81	111	若干名	—	500	
社会学部	社会学科	165	92	12	33	28	若干名	—	165	
	コミュニティマネジメント学科	100	52	7	18	23	若干名	—	100	
	地域福祉学科	125	70	9	25	21	若干名	—	125	
	臨床福祉学科	120	68	9	24	19	若干名	—	120	
社会学部小計		510	282	37	100	91	若干名	—	510	
国際文化学部	国際文化学科	370	180	27	72	51	40	若干名	370	
大学合計		3,545	1,908	250	600	747	40	若干名	3,545	
短期大学部	社会福祉科	242	100	15	75	52	若干名	若干名	242	
総合計		3,787	2,008	265	675	799	40	若干名	3,787	

<備考>

文学部では、上記募集人員以外に募集人員40名の社会人特別入試を実施する。

3) 入学志願者募集活動

① 生き残り戦略の一環として、地元重視(地域密着)の方針を打ち出す大学が増えている。本学においても地元対策強化を推進する。具体的には、本学への志願者が多い、中堅校をメインターゲットに、90分圏内にある中堅校の訪問を強化し、本学の入試制度を浸透させ、「受験しやすい龍谷大学」をイメージづけ、一般入試等の志願者増をめざす。なお、大学進学実績上位校については、将来の志願者確保を展望し、「大学政策枠指定校」を足がかりに関係構築をメインにし、本学の認知度を高め、教育・研究への理解を求めていく。

また、将来的に全国から学生確保ができる体制を構築するため、本学の知名度が低い地域についても、「大学政策枠指定校」等を戦略的に配置し、有力校との関係構築を図り、大学の認知度アップをめざす。

② 受験生獲得のための大きな媒体となっている本学独自の広報ツールである大学案内誌、ホームページ、メールマガジン等の充実を図り、受験生向け広報誌や各種イベント（高校教員対象入試説明会、オープンキャンパス、入試直前対策講座等）と連動させ、受験生をはじめ、保護者や高校・予備校関係者等に本学の入試制度、教育内容等を周知し、龍谷大学の認知度を高め、志願者（学生）の囲い込みをめざす。

③ これまでどおり大学組織をあげて各部署から「入試アドバイザー」を選出し、各地の入試相談会へ派遣する。また課長職位者による大阪圏の有力高校への訪問活動、学部教員による高等学校への出張講義等鋭意募集活動を一層充実させる。

また、オープンキャンパスや入試直前対策の出張イベントについても、実施に際しては内容を精査し、大学事情をよりわかりやすく伝達すべくさらに工夫を重ねる。